

別紙

三井化学株式会社岩国大竹工場 温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三井化学株式会社 岩国大竹工場

(2) 事業所の所在地

山口県玖珂郡和木町和木六丁目1番2号 (山口県分も含む)

(3) 業種

1731 石油化学系基礎製品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22(2010)年を基準とし、平成23(2011)年度から平成25(2013)年度までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a) 平成22年度	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c) 平成25年度	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成23年度	平成24年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂	541,000	525,000 -3.0	555,000 -2.6	361,400 33.2			
非エネルギー 起源CO ₂	7,600	7,400 -2.6	7,900 -3.9	6,800 10.5			
メタン	605	605 0.0	505 16.5	200 66.9			
一酸化二窒素	195	185 -5.1	230 -17.9	140 28.2			
フロン類	10	10 0.0	25 -150	25 -150			
温室効果ガス 実排出量総計	549,410	533,200 -3.0	563,660 -2.6	368,565 32.9			
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	製造プラント事故による工場操業停止で、温室効果ガス排出量が減少した。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：CO₂排出量

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a) 平成22年度	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c) 平成25年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成23年度	平成24年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位(原油換 算k1)	2.287	2.219 -3.1	2.461 -7.6	2.304 -0.7			
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料使用量の削減3%	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気トラップの定期点検による無効蒸気の低減 ・蒸気配管保温管理の強化 ・ボイラーブロー量の削減 ・暖管ブロー量削減 ・蒸気使用量の削減
2	電気使用量の削減	事務所等の電気使用量0.1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房温度を適正管理 ・昼休憩時の消灯の徹底 ・高効率照明器具への更新
3	一酸化二窒素排出量の削減	産業廃棄物の焼却量20%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の再資源化
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・2アップ印刷、裏面利用等 ・分別収集の徹底 ・リサイクル品の全品回収
2	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・清掃奉仕活動の実施（2回/年） ・災害支援物資（海洋汚染物質拡散防止資材）の常設
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。